

2011年1月27日
イオン株式会社
イオン1%クラブ

ブラジルへの緊急災害復興支援金贈呈について

イオンは、ブラジルのリオデジャネイロ州で発生した局地的な集中豪雨による被害の復興支援のため、緊急義援金を贈呈しますのでご案内申し上げます。

ブラジル南東部リオデジャネイロ州は、1月11日未明から12日にかけて（現地時間）山間部を中心に集中豪雨に見舞われました。その影響により、各地で地滑りや家屋の倒壊、河川の氾濫が発生し、多くの被災者や避難住民が出る甚大な被害を受けております。

イオンは、1995年にイオン1%クラブが実施する「ティーンエイジ・アンバサダー」事業において、ブラジルから24名の高校生を招聘し日本の高校生との交流を深めているほか、商品の取引においても、食品を中心にブラジルから数多くの商品を輸入・販売しています。今回の事態を受け、イオンは緊急災害復興支援金として500万円を駐日ブラジル大使館へ贈呈し、被災された方々の支援に役立てていただきます。

記

1. 日 時：1月28日（金） 16：30
2. 場 所：駐日ブラジル大使館
東京都港区北青山2-11-12
3. 出席者：駐日ブラジル大使 マルコス・ベゼーハ・アボッチ・ガウヴァン閣下
イオン株式会社 取締役会議長（イオン1%クラブ委員長） 原田 昭彦
4. 支援金額：500万円

以上

ご参考までに

【イオン1%クラブについて】

ジャスコ誕生20周年を迎えた1989年、グループ名を「イオングループ」に変更し、新たなスタートを切ると同時に設立を宣言。現在、グループの優良企業25社で構成され、各社が税引前利益の1%を拠出して、「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」という3つを柱に、さまざまな活動を推進しています。

具体的取組例)

1. 環境保全
 - イオンの店舗周辺でエコ活動を行う「イオンチアーズクラブ」
 - 全国の主要都市において、イオンのお客さまを対象に行う「イオン環境塾」
2. 国際的な文化・人材交流、人材育成
 - 「ティーンエイジ・アンバサダー」
 - 教育施設が必要なアジア地域の「学校建設支援」
 - アジアの留学生への奨学金「イオンスカラシップ」
3. 地域の文化・社会の振興
 - 地域の祭りなどの伝統行事への参加

【ティーンエイジ・アンバサダー事業について】

「国際的な文化・人材交流、人材育成」事業の一環として、環境をテーマに次代を担う青少年の国際的な相互理解、親交を深めることを目的に1990年からスタート。2010年までに、14カ国506名の高校生を日本に招聘しました。